

校章のひみつ

校章について

- 八沢小学校の校章になっている、マルバ車輪梅。それでは、なぜ八沢小学校の校章が、マルバ車輪梅なのか、説明します。
- まず、明治6年にできた屋形小学校から、昭和22年に、八沢村立八沢小学校に、変わったのが八沢小学校の始まりです。八沢小学校の校章は今とはちがう、校章でしたが、昭和33年に八沢中学校がなくなり、その八沢中学校の校章が、八沢小学校の校章となりました。



校章について

- では、なぜ、八澤中学校の校章が、マルバ車輪梅になったのかは、分かっていません。
- 引用 八沢小学校だより
- 参考 八沢小学校130年のあゆみ



車輪梅

南海老えんがん部の「海老浜のマルバシャリンバイ自生地」で大震災の大津波からのがれたけん指定の天然記念物「マルバシャリンバイ」がすな浜で白い花をさかせ始めています。さきすすむにつれ花の真ん中」がこいピンクになっています。鹿島町にじせいするマルバシャリンバイは日本のほくげんちでで高さ1メートルぐらいのバラ科のじゅうりょくです。葉は、厚く丸みがあり5月ごろ白い小さな花がさきます。その花はかおりがたかく気品があり、

ぶんかの町、鹿島町の象徴です。

車輪梅



マルバ車輪梅のつくちょうとしては、バラ科の花では、葉は分厚くて丸い。葉が枝さきに車輪状に、つまり花は梅に似ている。開花時期は、5月ごろから暖かくなったら開花、夏から秋、黄緑色の果実を実らせます。

車輪梅について

これから、車輪梅の成長についてお伝えします。最初に車輪梅の芽が出できます。それから何日かしたあとに、若葉が出できます。また何日かした後に、新葉が出てきます。そして、花が出てきます。そして6月ほどで開花します。車輪梅は約1～4メートル成長します。車輪梅についてくわしく説明すると、車輪梅は本州の東北南部から沖縄にかけて分布。海外では台湾や朝鮮半島にも分布されました。他にもバラ科の花はたくさんあります。トウジバイ、ナワシロイチゴチシマキンバイ、ミヤマニガイチゴなどあります。スモモなど、食べ物もバラ科なんです。豆知識をお伝えします。ヒメ車輪梅の「ヒメ」はなんの意味だと思いますか。葉が小さいから、「姫」とつく由来です♪ みなさんもぜひ、車輪梅を観察してみてくださいね♪

シャリンバイ周辺の植物

周辺の植物とは
どんな植物か

アカツメクサ

- クローバーの赤い花の種類なので、レッドクローバーとよばれている。ベニバナツメクサと同じヨーロッパ原産の帰化植物である。

「四季の山野草」 参
考



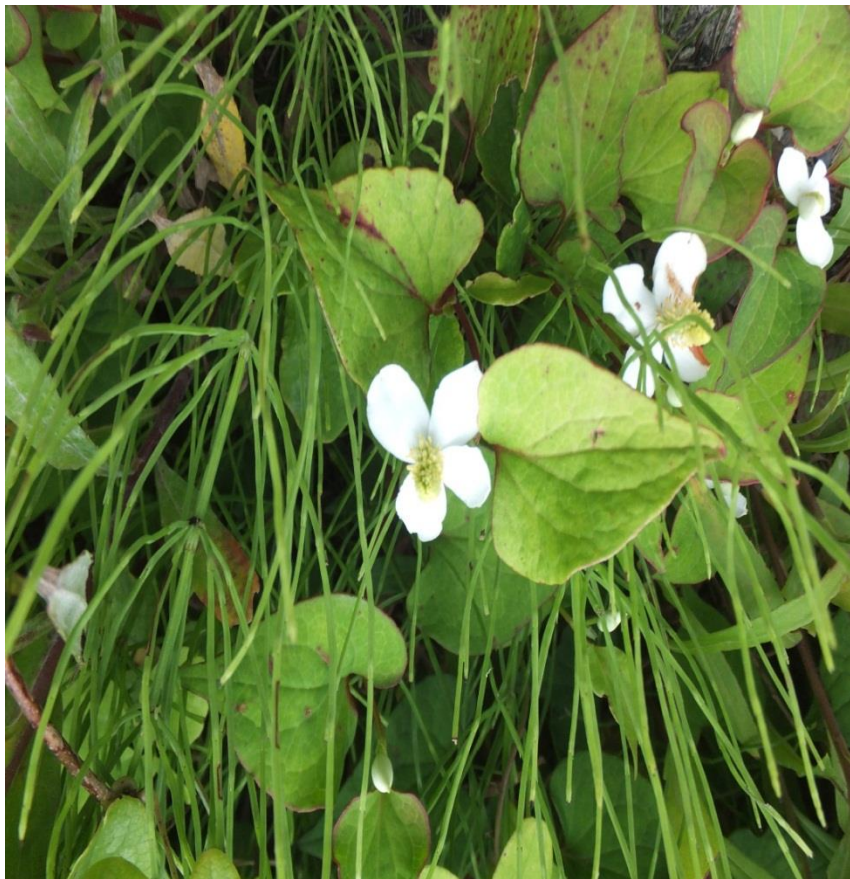
チガヤ

- 細かくしなやかな穂が、初秋の高原を渡る風の道筋通りになびく光景は、ススキとは一線を隔てる。
- 漢方では、根茎を茅根（ぼうこん）といい、利尿、消炎、止血の薬として用いる。

「四季の山野草」 参考



ドクダミ



- 強い臭いもだが、毛嫌いされる植物。本当は解毒や痛み止めの薬という意味の毒痛みからきているという。
- 「四季の山野草」
参考

ハマゴウ



カマツヅラ科の落葉低木。海岸の砂地に生え、茎や枝は地をはい、高さ約50センチ。葉は楕円形で裏面が白い。夏、茎の先に紫色の唇形の花をつける。ハマツバキとも呼ばれる。

「コトバンク」 参
考

ミヤコグサ



- 一般的に、海岸近くに生育するといわれているが、最近はこんなところにも進出。よく似たセイヨウミヤコグサはヨーロッパ原産の帰化植物である。

「四季の山野草」 参考